

ご用心！住民投票に水さす言い方3つ

良夫 合併協議会の協議がおわったようだね。
太郎 13日の協議会で、最後に残っていた市の名前で、「鹿島市」とすることに決めた。その後、地区ごとに説明会が開かれ、住民投票ということになる。
良夫 だけど、住民投票に水を差すような話を町内のあちこちで耳にするよ。たとえば、「合併はもう決まっている」という話した。

「合併はもう決まっている」というウソ

太郎 誤解でそう思っている町民もいるけど、それだけじゃなさそうだね。そこで、住民投票条例にもどってはっきりしておこう。条例では、合併に賛成するときは賛成欄に、合併に反対するときは反対欄に「 」をつけることになっている。投票は有権者の半数以上の投票で成立する。そして、「町長は、住民投票の結果を尊重しなければならない」と書いてある。百武町長もあらゆる機会に「合併するかしないかは、住民投票の結果で決める」と言っている。

民夫 住民投票の結果で決まることははっきりしているんだね。中には、「町の偉い人が決めたことだから---」とか「役場にお世話になっているから---」という人もいるが違うんだね。

太郎 役場の責任者である町長が住民投票の結果を待っているんだよ。だから、「合併することに決まっている」などと町民に誤解されるような言動はつつまなければならないね。

「一般町民には難しいことはわからない」という住民軽視

民夫 「合併問題は、少子高齢化とか、地方交付税とか難しい問題がいっぱいある。一般町民にはこんな難しいことはわからない」という人もいるね。

合併問題の話 お茶の間に 出前します

これまでに、12ヶ所から出前の注文があり、お届けしました。お茶の間の2～3人の集まりにも出前します。どんどん、声をかけてください。お伺いします

太郎 そうじゃないよ。合併問題には、住民の暮らし、地域の経済、住民自治、財政問題などいろんな問題があるけど、私たち住民にとって一番関係の深い問題は何だろう。
良夫 合併したら、自分の家の暮らしや商売・家業がどうなるか、自分が住んでいる地域・太良がどうなるかと言うことに決まっているよ。
太郎 その通りだ。大浦の人は、合併した後役場がなくなってどんなに不便になったか経験済みだ。太良町民は、七浦が合併した後さびれてしまったこともよく知っている。鹿島と合併したら、太良がどうなるか大体想像できるね。鹿島との合併が太良にとっていいのか、悪いのか判断できる。自分の経験や気持ちが一番確かだと思うよ。

「議会で決めるから住民投票は意味がない」という思いあがり

良夫 それだったら、みんなが自信をもって住民投票に参加できるよ。「合併するかどうか議会で決めることだから、住民投票にいてもムダだ」という話をきいたという人もいるよ。
太郎 町民の上に議員をおく思い上がった態度だね。確かに、手続きとしては、町議会の議決が必要だ。だけど、主権在民という憲法から言えば、太良町の主人公は誰だろうか。
良夫 1万1000人の町民に決まっているよ。
太郎 だから、百武町長は「住民投票の結果を尊重する」と言っている。ここが大事なところだ。町議会にも、住民投票の結果を尊重してもらえると信じているよ。
良夫 いろんな言い方があるんだね。こんなのを真に受けて住民投票に行かなかったら、北方町みたいに開票しないことになる。みんなに、だまされないようにしておこう。

合併反対・太良町を残そう

No.19 2004.4.21

発行 合併反対・太良町を残す町民協議会

連絡先 北町 川上賢二 Tel 67-9072

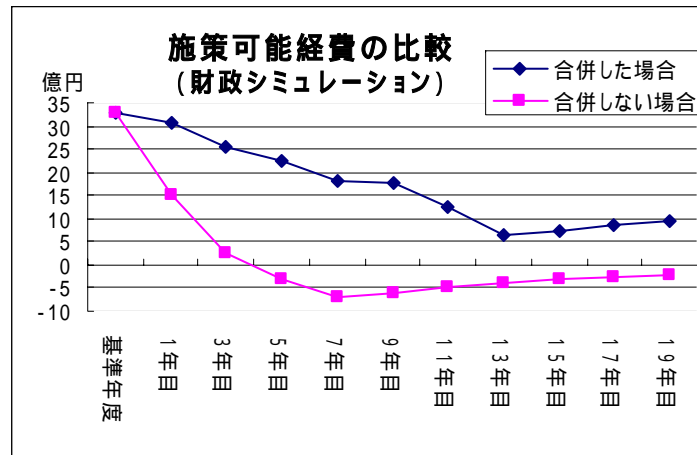
ホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ken-1941>

合併の結論が先にある財政シミュレーション

良夫 財政シミュレーションというのが発表されているね。
太郎 太良が合併しないとやっていけない。合併すれば、こんなにメリットがあるという根拠に使われている。けど、「先に合併ありき」という意図的なシミュレーションだ。
良夫 どういうことかね。

合併した場合は職員2割減、合併しない場合はそのまま

太郎 財政シミュレーションは、鹿島市と太良町が合併した場合と合併しない場合の「施策可能経費」を比較する右のような表をつくっている。施策可能経費とは、公共事業や新規の事業にあてることのできる財源のことだ。合併しない場合は、「財政的にマイナス」「現在のサービス維持が困難」としている。合併した場合は、施策可能経費を確保することができ、20年間の合併効果は350億円としている。



良夫 これじゃ、だれが見ても合併した方がいいと思うに決まっているね。
太郎 ところが、合併した場合と合併しない場合の比較の仕方に問題がある。合併した場合には、職員数は20%、物件費は26%を削減することになっている。ところが、合併しない場合は職員数も物件費もおなじ数字だ。まとめると、次のようになる。

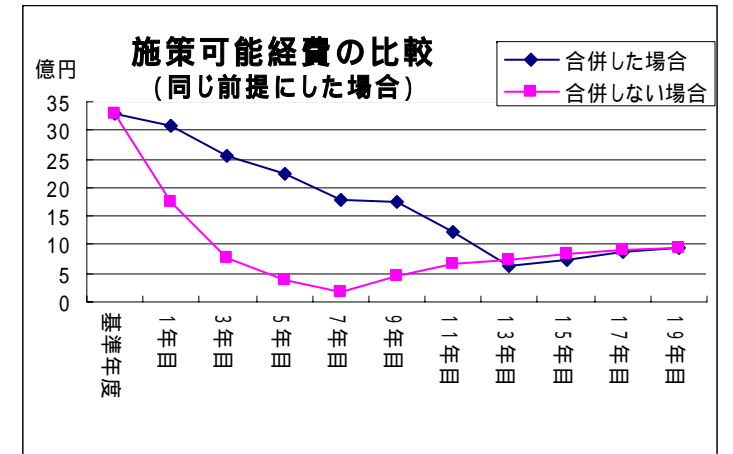
	職員数	物件費
合併した場合	20%減	平成26年度まで対前年度 3% (10年間で約26%)
合併しない場合	15年度のまま	15年度のまま

同じ前提にすると、10数年後の結果は変わらなくなる

良夫 おかしいよ！ 合併した場合には職員数や物件費をうんと減らすのに、合併しない場合は

そのまま。これでは、はじめから、合併した方が有利になるに決まっているよ。

太郎 その通りだ。そこで、合併しない場合も同じ割合で人件費や物件費の削減を行ったとして、施策可能経費（鹿島と太良の合計）を比べると右のグラフのようになる。



良夫 合併特例債を発行できる最初の10年を過ぎると、ほとんど同じになってしまう。これでは、合併しても、しなくても同じじゃないか。

太郎 その通りなんだよ。これで、財政シミュレーションのからくりがわかっただろう。

良夫 今のは、鹿島と太良をあわせての話だけど太良だけではどうなるかね。

交付税が減った分支出を削ったら - - 役場を残せる

太郎 太良町単独の場合、仮に合併した場合と同じ率で人件費や物件費を削ると人件費で約1億8300万円、物件費で約1億7000万円になる。合計3億5300万円だ。「施策可能経費」がマイナスになるということとはなくなる。

良夫 そのほかに、補助金や事業費の見直しをすれば、交付税が減った分を補うことができるね。

太郎 そうなんだ。交付税が減らされても、支出をへらすことで役場を残すことができる—ここが肝心なところだ。全国各地でそんな努力がすでに始まっている。太良も交付税が減って財政的には厳しくなっている。けど、どこを、どれだけ削るか—町民の間で真剣に議論すれば、必ず合意ができるし、太良町を残せると思うよ。

良夫 これからの太良をどうするかという大切な議論だね。連休明けから地区ごとの説明会があるようだけど、まず議論しなければならないことだね。

カンパのお願い

1月以来、30人以上の方から、カンパをいただきました。おかげでピラの発行を続けています。住民投票にむけて、ピラの発行を続けます。今後ともご協力をお願いします。